こんな時どうする？
話し合ってみましょう

１５時１５分～１５時４５分

1. 結核を疑う利用者への対応
2. 結核と診断された利用者への対応

- 保健所職員が進行します。
- 発表はありません。
- 他の人が話している時には、批判せずに聞きましょう。

事例１　結核を疑う利用者への対応

７５歳　男性　妻とふたり暮らし　糖尿病の既往あり

週３回デイサービス利用中　ショートステイもたまに利用

※入所施設の場合は、入居者として考えてみてください

【経過】

R8.3.2	2週間前から軽い咳が続いている。 最近は食欲低下もみられ、少し体重が減った様子である。 かかりつけのA病院に相談。胸部レントゲン検査を行ったところ、肺に影があった。 結核の疑いがあるので精査したほうがよいと、主治医より説明があり、B病院への紹介状をもらった。 デイサービスへ、本人より「結核の疑いがあると言われた」 と連絡があった。
3.16	B病院へ受診。胸部CT検査と喀痰検査を３日間（3.14～3.16）行うこととなった。 １週間後に受診予約を取り、診察は終了。 デイサービスへ、本人より「検査を行い、１週間後に結果がわかる」 と連絡があった。

【こんなときどうする？】　7分間で話し合ってみましょう

①　この事例のどのような点が気になりますか？

②　施設としてどのような対応を考えますか？

③　誰に相談・情報共有しますか？

事例2　結核と診断された利用者への対応

７５歳　男性　妻とふたり暮らし　糖尿病の既往あり

週３回デイサービス利用中　ショートステイもたまに利用

※入所施設の場合は、入居者として考えてみてください

【経過】

R8.3.23	検査の結果、胸部レントゲン検査にて左肺に結節影あり。 喀痰検査で塗抹が陰性、PCRが陽性であり、肺結核と診断された。 外来で治療開始となった。次回２週間後に受診予定。 デイサービスへ、本人より「結核の治療が始まった。人にはうつさないと言われたので、 次のデイサービスへ行ってもよいか。」と連絡あり。

【こんなときどうする？】　7分間で話し合ってみましょう

①　利用（入所）継続についてどう考えますか？

②　利用（入所）継続を判断するために、どのような情報を確認しますか？

③　他利用者・家族・職員から不安の声があった場合、どのように対応しますか？